

前提条件など、登録時に注意を要する科目一覧

作成日：2017年3月14日
最終更新日：2017年3月21日

1. 専門基礎科目

群	科目	登録条件・注意事項
I	基礎数学 7クラス（安原先生） 基礎数学 8クラス（田中先生）	数学受験者用クラスのため、他のクラスより内容の多い講義となっております。この点を加味した上で、希望者は履修するようにしてください。

2. 専門教育科目

群	科目	登録条件・注意事項
I	簿記 I	「基礎会計学」修得者、または「日商簿記検定 3 級」程度の知識を有する者のみ登録可。 上記の者であっても「簿記原理」（～2008）または「上級簿記」（～2009）修得済みの場合は登録不可。
	ミクロ経済学	「基礎経済学」修得者のみ登録可。
	マクロ経済学	
II	国際貿易論	「貿易論」（～2013）修得済の者は登録不可。
	簿記 II	「簿記 I」もしくは「上級簿記」修得者、または「日商簿記検定 2 級」程度の知識を有する者のみ登録可。
	ゲーム理論と戦略	初回講義は、オンデマンドでの講義となります。教室では実施されませんのでご注意ください。 履修者については、Course N@vi にアップロードされているコンテンツにて、各自で受講してください。
	回帰分析	「計量経済学」（～2013）修得済の者は登録不可。 「基礎数学」および「基礎統計学」修得者のみ登録可。
	民法（総論） I	「(旧) 民法 I」修得済の者は登録不可。
	民法（総論） II	「(旧) 民法 II」修得済の者は登録不可。 「民法（総論） I」修得者のみ登録可。
	総合商社ビジネス論	政経科目「総合講座（現代総合商社論）」修得済みの者は登録不可。
	数理統計学 I、数理統計学 II	数理統計学（～2014）を修得済の者は登録不可。
	中国社与企業	「中国社与企業」（2014）修得済の者は登録不可。
	中国社与文化	「中国社与文化」（2014）修得済の者は登録不可。
III	財務諸表分析論	「経営分析論」（～2012）修得済の者は登録不可。
	企業価値評価論	「財務管理論」（～2012）修得済の者は登録不可。
	国際マーケティングマネジメント論	「国際マーケティング論」（～2013）修得済の者は登録不可。
	経済統計 I	「経済統計」（～2014）修得済の者は登録不可。
	経済統計 II	
	産業組織論	「基礎数学」修得者のみ登録可。
	民法（物権法） I	「(旧) 民法 I」、「(旧) 民法 II」、「(旧) 民法（総論） II」、「民法（総論） I」、「民法（総論） II」のうちいずれか 1 科目以上修得している者のみ登録可。
	民法（債権法総論） I	
	民法（債権法総論） II	「(旧) 民法 III（債権総論 II）」修得済の者は登録不可。 「民法（債権法総論） I」修得者のみ登録可。
	労働法 I	「雇用関係法 I」（法学部設置）「労働法」（～2011）修得済の者は登録不可。

	労働法Ⅱ	「雇用関係法Ⅱ」(法学部設置) 修得済の者は登録不可。
	The Japanese Economy 1	ABS プログラム参加者必修科目となりますが、本プログラムを登録していない場合も登録できます。
	Japanese Business (ABS プログラム)	ABS プログラム参加者以外は登録できません。
—	寄附講座等系統科目全て	2010 年度以降入学者は、当該科目は 8 単位まで しか、卒業算入科目として登録できません。登録時に超える見込みがある場合は登録エラーとなります。

3. 総合教育科目

群	科目	登録条件・注意事項
I	心理学 A / B	「心理学」(～2014) 修得済の者は登録不可。
	現代の諸問題(文明の衝突を超える視点)	以下の科目いずれかを修得済の者は登録不可。 生きがいの探求(～2006) 現代の諸問題 B (女性学)(～2000) 現代の諸問題 C (女性学)(～2000) 現代の諸問題 A (免疫学)(～2001) 現代の諸問題 A (都市の危機管理)(～2004) 現代の諸問題 A (ナノテクノロジーの可能性を探る)(～2007) 現代の諸問題 (脳とホルモン)(～2009) 現代の諸問題 (「文明の衝突」を超える)(～2013) 現代の諸問題 (脳疾患からの生還)(～2016)
	中国社会とビジネス A / B	「中国社会と社会システム」(～2013) 修得済の者は登録不可。
	総合教育科目演習(プロゼミ) 全て	プロゼミ A (春学期) 履修者は、科目登録最終結果発表時に同一のプロゼミ B (秋学期) が自動登録されます。プロゼミ B が、自動登録科目(外国語、ゼミ等)の時間割と重複した場合は、プロゼミ A のみの履修となり、プロゼミ B は登録されません。 なお、プロゼミ A が不合格となった場合、自動登録されたプロゼミ B は、春学期成績発表後に取消しとなります。
	総合教育科目演習(プロゼミ) B	一部のプロゼミ B については、プロゼミ B から登録することが可能です。登録可能な科目については商学部 HP の科目登録関連情報『専門教育演習(プロゼミ) B 追加募集について』をご確認ください。

4. 外国語科目

群	科目	登録条件・注意事項
II	ドイツ語Ⅱ選択 A/B 表現(書く・話す)	「ドイツ語Ⅱ選択 A/B 表現」(～2013) 修得済の者は登録不可。
	ドイツ語Ⅱ選択 A/B 表現(聞く・話す)	「ドイツ語Ⅱ選択 A/B 初級会話」(～2013) 修得済の者は登録不可。
	ドイツ語コミュニケーション A/B	「ドイツ語会話中級 A/B」(～2013) 修得済の者は登録不可。
	フランス語Ⅱ選択 A/B 読解(文学・芸術)	「フランス語Ⅱ選択 A/B 読解(文化・文学)」(～2013) 修得済の者は登録不可。
	フランス語Ⅱ選択 A/B 口頭表現	「フランス語Ⅱ選択 A/B 初級会話」(～2013) 修得済の者は登録不可。
	フランス語コミュニケーション A/B	「フランス語会話中級 A/B」(～2013) 修得済の者は登録不可。
	時事フランス語 A/B	「現代のフランス A/B」(～2013) 修得済の者は登録不可。
	スペイン語Ⅱ選択 A/B 表現(書く・話す)	「スペイン語Ⅱ選択 A/B 口頭表現」(～2013) 修得済の者は登録不可。
	スペイン語Ⅱ選択 A/B 表現(読む・話す)	「スペイン語Ⅱ選択 A/B 読解」(～2013) 修得済の者は登録不可。
	スペイン語Ⅱ選択 A/B 表現(聞く・話す)	「スペイン語Ⅱ選択 A/B 聴解」(～2013) 修得済の者は登録不可。
	スペイン語コミュニケーション A/B	「スペイン語会話とコミュニケーション A/B」(2013) 修得済の者は登録不可。
	総合スペイン語	「スペイン語総復習 A/B」(～2013) 修得済の者は登録不可。

	中国語コミュニケーション A/B	「中国語のコミュニケーション A/B」(～2013)「中国語会話 A/B」(～2013) 修得済の者は登録不可。
--	------------------	--

[2013 年度以前入学者 (2015 年度入学の 3 年次編入者・転部者・学士入学者・ダブルディグリー者含む)]

群	科目	登録条件・注意事項
II	留学のための Academic Reading 留学のための Academic Listening	II 群科目ですが、1 年次から履修可能です。 科目申請時に、科目群「外国語 II (英語)」から科目を選択してください。
	英語 II (習熟度別) 上級 選択科目 科目全て	2016 年度英語統一試験 600 点以上 のスコア取得者が対象。任意登録なので間違っても登録してもエラーにはなりません。基準に従ってクラスを選択してください。
	英語 II (習熟度別) 中級 選択科目 科目全て	2016 年度英語統一試験 595 点未満 のスコア取得者が対象。任意登録なので間違っても登録してもエラーにはなりません。基準に従ってクラスを選択してください。
	中国語 II 選択科目全て	2013 年度より科目の再編が行われました。2011 年度まで設置していた科目との互換性はなく、全て異なる科目内容ですので、どの科目でも中国語 I を 2 単位以上修得していれば登録は可能です。
III	総合・学際群 国際系科目 (II 群科目も含む)	授業が全て外国語で行われる科目があります。 スコア条件等はないので、間違っても登録してもエラーにはなりません。使用言語等の詳細は、web シラバスを確認してください。
	専門英語講読 A	専門英語講読 A は同じ科目を重複して履修することができます。 (前年度に「専門英語講読 A」の単位を修得していた場合も、再度「専門英語講読 A」を履修することができます) ただし、担当教員が同じクラスを重複して履修することはできません。
	専門英語講読 B	専門英語講読 B は同じ科目を重複して履修することができます。 (前年度に「専門英語講読 B」の単位を修得していた場合も、再度「専門英語講読 B」を履修することができます) ただし、担当教員が同じクラスを重複して履修することはできません。

[2014 年度以降入学者 (2015 年度入学の 3 年次編入者・転部者・学士入学者・ダブルディグリー者除く)]

群	科目	登録条件・注意事項
I	英語 I ビジネス英会話	ビジネス英会話 B は、原則として同科目 A を一度以上履修していることが登録の条件です。 「General Tutorial English」が不合格となった場合、 次年度 以降に自身で登録し、英語 I の単位として算入することができます。
II	留学のための Academic Reading 留学のための Academic Listening	II 群科目ですが、1 年次から履修可能です。 科目申請時に、科目群「外国語 II 選択 (英語共通)」から科目を選択してください。
	英語以外の外国語 II 選択科目 (上級レベル)	「外国語 II 必修 (1 単位)」および「外国語 II 選択 (中級レベル) (2 単位)」修得者のみ、次学期以降登録可。
	英語 II (習熟度別) 上級 選択科目 科目全て	2016 年度英語統一試験 660 点以上 のスコア取得者が対象。準上級クラスの方も当該科目を履修することが出来ます。
	英語 II (習熟度別) 準上級 選択科目 科目全て	2016 年度英語統一試験 505 点以上、655 点以下 のスコア取得者が対象。中級クラスの方も当該科目を履修することが出来ます (上級クラスの方は履修不可)。
III	英語 II (習熟度別) 中級 選択科目 科目全て	2016 年度英語統一試験 500 点以下 のスコア取得者が対象。上級クラス・準上級クラスの方は履修できません。
	外国語専門科目分野 (II 群科目も含む)	授業が全て外国語で行われる科目があります。 スコア条件等はないので、間違っても登録してもエラーにはなりません。使用言語等の詳細は、web シラバスを確認してください。
III	専門英語講読 A	専門英語講読 A は同じ科目を重複して履修することができます。 (前年度に「専門英語講読 A」の単位を修得していた場合も、再度「専門英語講読 A」を履修することができます) ただし、担当教員が同じクラスを重複して履修することはできません。

	専門英語講読B	専門英語講読Bは同じ科目を重複して履修することができます。 (前年度に「専門英語講読B」の単位を修得していた場合も、再度「専門英語講読B」を履修することができます) ただし、担当教員が同じクラスを重複して履修することはできません。
—	General Tutorial English $\alpha \cdot \beta$ (General Tutorial English Beginners 含む)	科目登録時に、科目区分「外国語」を選択した場合、英語Ⅰの単位として算入することができます。 ※再履修者専用科目「英語Ⅰ ビジネス英会話」を含めて、合計2単位まで英語Ⅰの単位に算入することができます。上限を超えた単位は「共通選択科目」として認定されます。 ※英語選択者以外は、「外国語」として算入することはできません。 ※科目系列を「他箇所」または「自由科目（他箇所・他機関）」を選択した場合は、英語Ⅰの単位には算入されませんので、申請時には科目区分を確認してください。
—	朝鮮語科目（全学オープン科目）	全学オープン科目履修ガイド P.72「2017 年度 朝鮮語 全学オープン科目マップ」に記載されている全学オープン科目については、科目登録時に、科目区分「外国語」を選択した場合、朝鮮語Ⅱ選択の単位として算入することができます。 ※朝鮮語選択者以外は、「外国語」として算入することはできません。 ※科目系列を「他箇所」または「自由科目（他箇所・他機関）」を選択した場合は、朝鮮語Ⅱ選択の単位には算入されませんので、申請時には科目区分を確認してください。
—	日本語科目（日本語センター設置科目）	科目登録時に、科目区分「外国語」を選択した場合、外国語の単位として算入することができます。 ※日本語選択者以外は、「外国語」として算入することはできません。 ※科目系列を「他箇所」または「自由科目（他箇所・他機関）」を選択した場合は、外国語の単位には算入されませんので、申請時には科目区分を確認してください。

以上